

作成日：1994 年 02 月 02 日

改訂日：2010 年 09 月 21 日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	ローラーガード RG-3
会社名	光陽化学工業株式会社
住所	大阪市城東区森之宮 2-3-5
担当部門	営業部
電話番号	06-6969-1821
FAX 番号	06-6969-1825

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 2 B
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性・急性	分類できない
	水生環境有害性・慢性	分類できない

GHS ラベル要素

絵表示	なし
注意喚起語	警告
危険有害性情報	眼刺激
注意書き	予防策

使用前に製品安全データシート (MSDS) を入手すること。
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 必要に応じて個人用保護具を使用すること。
 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
 屋外または換気のよい場所でのみ使用すること。
 環境への放出を避けること。

対応

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
 取り扱った後、手を洗うこと。

保管

容器を密閉し、換気の良い場所で施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

化学名

成分	化学式	CAS 番号	官報公示整理番号 化審法	安衛法	含有量
高沸点炭化水素	—	—	—	—	75～85%
エステル系溶剤	—	—	—	—	15～25%

P R T R 法・第 1 種指定化学物質及び第 2 種指定化学物質：非該当

労働安全衛生法第 57 条の 2 通知対象物：非該当

4. 応急措置

吸入した場合：被曝者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ安静にする。
呼吸が弱かったり、止まっている場合は、衣服を緩め呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。体を毛布等で覆い、保温して安静に保つ。応急措置を施した後、直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染された衣服、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。

製品に触れた部分を水と石鹸で洗い落とす。

目に入った場合：直ちに清浄な水で最低 15 分間目を洗浄したのち、直ちに眼科医の診断を受ける。
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。

飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄する。揮発性の液体なので、吐かせるとかえって危険が増す。
無理に吐かせてはならない。直ちに医師の診断を受ける。

応急措置をする者の保護：救助者が有害物質に触れないよう手袋やゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤：粉末、二酸化炭素、泡、乾燥砂

特定の消火方法：消火作業は可能な限り風上から行う。移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な処置をする。

初期火災には粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災の際には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。

容器周辺が火災のときは、容器を安全な場所に移動する。移動ができないときは、容器に注水して冷却する。

消火を行う者の保護：呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：付近の着火源となるものを速やかに取り除く。

風下の人を避難させ、漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業の際は保護具を着用し、飛沫が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないように注意する。

環境に対する注意事項：廃液が河川等に排出されないように注意する。

除去方法：危険なくできるときは漏洩を止める。

(1)少量の場合

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させ密閉できる容器に回収する。

(2)大量の場合

大量流出の恐れはない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：着衣、皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。

注意事項 : 局所排気装置を使用するか、換気のよい場所で行う。
 安全取扱い注意事項: 周辺でのスパーク、火気の使用を禁止する。
 保管 適切な保管条件: 容器は密封し、直射日光、火気を避け、冷暗所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 局所排気装置が望ましい。
 取扱い場所の近くに洗身シャワー、手洗い、洗眼設備を設ける。

保護具

呼吸器の保護具 : 必要に応じて有機ガス用防毒マスク
 手の保護具 : ゴム製保護手袋
 目の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡
 皮膚及び身体の保護具: 適切な作業服

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状: 液体
 色 : 無色透明
 臭い: 微臭
 pH: 該当しない
 物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲
 沸点: 250℃以上
 融点: データなし
 引火点: 140℃以上
 発火点: データなし
 爆発限界: データなし
 蒸気圧: データなし
 蒸気密度: データなし
 比重: 0.86 (25℃) (代表値)
 溶媒に対する溶解性: 水に不溶
 オクターナル/水分分配係数 (log Pow): データなし

10. 安定性及び反応性

通常の手扱い条件においては安定である。
 可燃性である。熱分解するとCOガスを生じる恐れがある。

11. 有害性情報

皮膚に触れた場合: 弱い刺激を与えることがある。
 眼に入った場合 : 一過性の刺激あり。
 吸入した場合 : 高濃度ガスを吸入すると、目眩、吐き気を起こすことがある。
 成分に関する情報

(1) エステル系溶剤

急性毒性: (RTECS) 経口毒性 ラット LD50: $\geq 10\text{g/kg}$
 成分化学物質の発癌性情報: IARC (国際がん研究機関) のランク[1;2A;2B]物質の有無: 該当物質なし

12. 環境影響情報

有用な情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄は焼却によって行い、その方法は次のいずれかによる。
 (1) ケイソウ土等に吸収させて焼却炉で少量ずつ焼却する。
 (2) 免許を所有している専門処理業者に処理を委託する。
 汚染容器・包装: 空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去した後に処分する。

1 4. 輸送上の注意

国内法規制

下記、輸送に関する国内法規制に該当するので、各法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。

消防法：危険物 第4類第3石油類 非水溶性液体 危険等級Ⅲ

国連分類：分類基準に該当しない

国連番号：なし

輸送の特定の安全対策及び条件：輸送前に容器の破損、腐食、漏れのないことを確かめる。転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷くずれ防止を確実にを行う。

1 5. 適用法令

消防法	：危険物 第4類第3石油類 非水溶性液体 危険等級Ⅲ
安衛法 危険物	：非該当
表示物質	：非該当
特化則	：非該当
有機則	：非該当
通知対象物	：非該当
毒物及び劇物取締法	：非該当
化審法	：非該当
P R T R 法	：非該当
船舶安全法 危規則	：非該当
航空法	：非該当

1 6. その他の情報

記載内容の問い合わせ先：光陽化学工業株式会社 営業部

電話番号：06-6969-1821

F A X：06-6969-1825

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすべきものではありません。

また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

参考文献：成分メーカーMSDS

労働安全衛生法MSDS対象物質全データ（化学工業日報社）

製品安全データシートの作成指針・改訂版（社団法人 日本化学工業協会）